

～東日本大震災復興特区における訪問リハビリテーション事業所～

新規事業所 職員募集のご案内

「被災地の支援」と「リハビリのあるまちづくり」を同時に関わりたい方
いっしょに「訪問リハビリステーション」で働いてみませんか

リハビリ専門職の代表的な組織である日本の3協会（PT協会・OT協会・ST協会）は、
「継続して被災地を支援したい」という「共通の思い」を具体的な「形」にしています。

平成26年上半年期“宮城県気仙沼市”に新規事業所開設!!

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士 募集

■同時募集



宮古・山田訪問リハビリステーションゆずる

管理者：石田英恵（出身：静岡県） 従業員：PT3人・OT3人 理念：笑顔あふれるまちづくり

【メッセージ】

おかげさまでケアマさんと地域の医師の信頼を得ながら「人手が足りない」ほど、地域から愛され始めました（心から感謝です）。
スタッフはみんな県外出身！言いたいことが言い合える楽しい仲間です。仲間を募集しています！



浜通り訪問リハビリステーション

管理者：安部ちひろ（出身：南相馬市） 従業員：PT4人・OT1人・ST1人 理念：地域に根付くステーション

【メッセージ】

管理者以外はみんな県外からの仲間です。財団が作った初めての事業所なので、これからのお手本にならないと！とみんなで協力しながら切磋琢磨しています。訪問リハビリステーションの発信源に、ぜひお越しください！

●●● 私たち、2人の女性管理者が素朴な疑問に率直にお答えします ●●●

素朴な疑問 その1

被災地の支援は、まだ必要なの？

南相馬市は、東日本大震災や原発事故の影響を受け、生活環境が変わっています。宮古市も同じです。そして、多くの方が、まだ仮設住宅で生活しています。仮設住宅は想像以上に狭く、イスを置くスペースがないことも少なくありません。障害を持ちながら、制限された住環境の中で、生活の再構築を必要としている方が数多くいらっしゃいます。リハビリ専門職が果たす役割は大きいと、ますます感じています。（安部・石田）

素朴な疑問 その2

訪問リハビリのニーズは？

ステーションを立ち上げて実感しましたが、訪問リハビリのニーズは本当に高いです。介護予防もそうです。宮古・山田地区は元々医療やリハビリ資源に乏しい地域でしたが、リハビリのニーズは隠れていただけでした。私たちの事業所があること、私たちの働きそのものが「まちづくり」に繋がっていると実感しています。（安部・石田）

素朴な疑問 その3

被災地支援って、ハードル高そう…。

勤める前は、私も同じ思いでした（石田）。たしかに、震災で家族や仕事を失った方が多いですが、特別なことをしなくても訪問リハビリとして関わることで、その方々の支えになる部分があると思えるようになりました。気負わなくても大丈夫です。（安部・石田）

募集要項

【勤務地】 福島県南相馬市・岩手県宮古市・宮城県気仙沼市

【応募条件】 ・所有資格：理学療法士免許・作業療法士免許・言語聴覚士免許

・職歴：＜管理職＞臨床経験5年以上 ＜一般職＞臨床経験1年以上

・要普通自動車運転免許

【給与・待遇】 管理職：211,000円以上、一般職：185,000円以上

賞与年2回・昇給年1回、経験給・被災地特別手当・住居手当・通勤手当・扶養家族手当・他
各種社会保険完備・研修会参加などへの助成あり（詳細はお問い合わせ下さい）

【勤務時間】 8：30～17：30（実働8時間） 【休日休暇】 4週8休制・年末年始・有給休暇

【応募方法】 下記の電話番号もしくは、メールアドレスにてお問い合わせ下さい。応募方法の詳細をお伝えします。
※見学も受け付けております。

一般財団法人訪問リハビリテーション振興財団 担当：事務局 横山

TEL：03-6804-1422 FAX：03-6804-1405 E-Mail：guidance@japanpt.or.jp